

実施対策の進行イメージ（例）

実施対策の進行イメージ（例）

実施項目			～3時間	～6時間	～24時間	～3日	～1週間	～1か月	～1年	1年～		
共通の対策	情報収集、提供		○【直後～】マスコミ、コミュニティFM、ポータルサイト等各種の手段を活用した早期の情報収集、伝達体制確保									
			○【直後～】避難所の混雑状況や、食料・飲料水等のサービスの提供状況等の取りまとめ、避難所における情報提供									
	物資供給		○【直後～】海外からの資機材・物資・サービス等の支援受け入れ体制の確保									
	災害時要援護者支援		○【直後～】要援護者の特性に応じた帰宅時、避難時における情報提供等の支援、社会全体に対する支援の呼びかけ									
支援者の確保			○【3時間後～】避難所等における環境条件の良い場所に案内する等の配慮									
			○【3時間後～】避難所等への避難者や、むやみに帰宅せずに残った帰宅困難者、滞留者に対するボランティア活動等の呼びかけ									
避難者に係る対策	生活場所の確保	避難所	避難所施設	○【直後～】避難所の設置、運営								
				○【2日後～】民間施設や都県立学校等の公的施設に対し、可能な範囲での避難所開設等の支援要請								
		○【3日後～】テントおよび設置可能場所の提供要請、緊急輸送										
			遠隔地避難 帰省・疎開	○【1日後～】全国への公営住宅提供の問い合わせ、遠距離避難・疎開に係る調整・あつせん								
				○【3日後～】地域外への避難、疎開場所と自宅周辺とを結ぶ交通手段の確保、疎開・帰省した被災者への情報提供等の支援								
			応急住宅	応急仮設住宅	○【1日後～】できるだけ被災地の近傍における公的なオープンスペース、道路予定区域、民有地等も視野に入れた仮設住宅の建設用地の確保							
	○【1週間後～】全国から供給される応急仮設住宅を、被災地内の被害状況、住宅供給状況等に応じ広域調整											
			民間賃貸住宅等	○【1週間後～】宅建業団体等や仲介業者等に対し、民間賃貸住宅の一時提供の協力要請								
				○【1週間後～】一時提供物件の地方公共団体間での広域調整、契約終了時の退去勧告等所有者・利用者との調整								
	情報収集、提供		○【直後～】避難所等にテレビ、ラジオ、FAX、パソコン（インターネット環境の整備を含む）、プリンター等を配備、必要となる電源や紙、トナー等の確保									
		○【1日後～】車中やテント等に宿泊している避難所外避難に対する情報提供のための地方公共団体職員の巡回、連絡窓口の設置等										
		○【1日後～】健康管理に係る情報、医師団の派遣に関する配布資料等の提供										
物資供給		○【12時間後～】避難所への輸送体制、物流拠点の分散配置等、大量の物資をさばくロジスティクスの確保										
		○【1日後～】指定避難所以外に滞在する避難者の人数や物資ニーズ等の把握、および物資配布等の対応										
自宅への早期復帰		○【12時間後～】建築士等への応急危険度判定業務依頼、判定業務に係る食事、宿泊等ロジスティクス確保										
		○【3日後～】自宅再建等に係る方法や費用、利用可能な公的支援制度等について広報										
帰宅困難者等に係る対策	情報収集、提供		○【直後～】関係機関、駅周辺等の事業者、地域住民等からの情報収集および集約、各機関との情報共有									
	安否確認		○【直後～】「むやみに帰宅を開始しない」旨の広報、今後の行動に関わる安否確認の取得手段や鉄道の運行状況に係る情報の周知									
			○【直後～】学校における学校・生徒・保護者間の安否確認、企業等における翌日帰宅・時差帰宅の促進									
			○【3時間後～】警察や警備員のほか、地域の自治会、周辺事業者、その他のボランティア等による混雑情報や迂回路情報の提供支援									
帰宅、残留支援		○【直後～】企業、学校等における従業員、生徒等の一時収容										
		○【1時間後～】転倒したブロック塀や自動販売機、沿道建築物等からの落下物等、路上の散乱物周辺にコーンを設置するなど安全対策の実施										
		○【3時間後～】滞留者や徒歩帰宅者のために帰宅困難者等支援広場を大規模公園等のオープンスペース等に確保										
		○【3時間後～】帰宅困難者等支援広場、コンビニエンスストア・ガソリンスタンド等における情報提供、飲料水やトイレ等の提供										
		○【3時間後～】公的施設や民間施設、地下街等を活用した滞留者の一時滞在施設の確保、誘導										
		○【2日後～】バス・舟運を使った帰宅困難者の代替輸送、鉄道の折り返し駅・空港等へのバス輸送の実施										

本格的な対応が開始され、落ち着くまでの期間
 対応の準備期間、および落ち着いた後の期間

※阪神・淡路大震災等の既往の地震時の状況を参考にして、首都直下地震発災時の対応状況をイメージして作成したものである。地震の規模や発災の時間帯等によって状況が異なる可能性がある。